

1. 2021年度事業報告

(2021年4月1日から2022年3月31日)

【企画運営活動】

1. 第38回社員総会

2021年5月28日、大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1丁目8番4号)において開催した。代議員総数134名のうち、111名(内8名出席、委任状103名)が出席し、代議員の過半数である定足数を満した。第38回社員総会は成立したことを確認した後、次の議案を審議し、満場一致で承認決議を行った。

- (1) 2020年度事業報告承認の件
- (2) 2020年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件
- (3) 2021年度役員選任の件
- (4) その他

報告事項1. 2021年度事業計画報告の件、報告事項2. 2021年度収支予算報告の件、報告事項3. 新終身会員報告の件

2. 理事会 (4/21、5/28、8/26、12/7、3/29)

本会の意思決定機関として、本会の事業活動を担っている事業企画委員会、会誌委員会、各種委員会、特別委員会等の活動状況の報告をうけ、定款によって定められた審議事項並びに会全体の運営に係わる事項について審議・決定した。

3. 委員会

会長の諮問に答え、また委員会規程に基づき各種の業務執行にあたる。2021年度は下記12の委員会及び監査会を開催した。

- (1) 人事・財務委員会 (3回) (4/14、7/20、8/17)

事務局職員の人事・給与および本会の予算案の編成並びに経理と財務を掌理し、長期的財政の安定を図るために委員会を開催し、本年度の予算の執行、次年度の予算について審議し、理事会に提案した。

- (2) 事業企画委員会 (6回) (4/19、6/16、8/20、10/4、12/3、2/21)

本会の目的達成に必要な事業の企画・運営のための委員会を開催した。

- (3) 会誌委員会 (14回) (4/6、5/11、6/8、7/2、8/5、9/6、9/17、10/5、11/8、12/10、1/12、2/8、3/8、3/18)

会誌の編集、刊行を掌理するために編集委員会を12回、理事会と編集委員会との間の意思疎通を円滑にするための会誌委員会を2回開催した。

- (4) 技術賞委員会

化学技術賞審査委員会 (1回) (3/15)、技術賞委員会 (3回) (7/28、10/29、11/30)

表彰規定に基づき化学技術賞授賞者及び環境技術賞授賞者の選考を行うために技術賞委員会と審査委員会を開催し、2021年度の授賞者を選定した。

- (5) 総務委員会 (6回) (4/12、6/21、7/19、10/18、10/28、11/26)

総務的事項並びに他の委員会に該当しない事項で、本会の運営上必要かつ重要な事項について審議し、理事会へ提案した。

- (6) 合同事務局運営委員会 (2回) (6/22、9/3)

一般財団法人大阪科学技術センタービル608号室に同居する化学系の学術5法人の運営に関する事項について委員会を開催し、部屋代、人件費、社会保険料、事務局運営経費等の分担経費を決定した。

- (7) 研究部門委員会 (2回) (10/19、11/2)

専門部会の運営、改廃を掌理し、また本会の目的のために必要な部会・研究会の設置について審議するため委員会を開催した。

(8) 国際交流委員会 (2回) (11/5、3/8)

これまでの開催行事の経緯等について収集した情報をもとに今後の委員会と活動のあるべき姿やその具体策を審議し、理事会に提案した。

(9) 男女共同参画推進委員会 (3回) (9/16、10/4、10/14)

本会が広く女性化学者の集う場となるべく、具体的な事業の企画立案を行うため委員会を開催した。

(10) 情報化委員会 (2回) (10/11、11/25)

本会の効率的・効果的運営に必要な情報化社会システムの活用方法について検討するため委員会を開催した。

(11) 代議員選挙管理委員会 (2回) (6/8、3/8)

2022年4月就任の代議員選挙の実施に際して、理事会及び代議員候補者選考委員会から独立した委員によって選挙管理を行った。

(12) 代議員候補者選考委員会 (2回) (8/20、11/10)

2022年4月就任の代議員選挙の実施に際して、理事会及び選挙管理委員会から独立した委員によって代議員候補者の選考を行った。

(13) 監査会 (1回) (4/15)

定款第25条に掲げる監事の業務を執行するため、①理事会に出席、②監査会を開催した。

【国際研究集会・国際交流事業】 (公益目的事業1)

多くの日本の研究者及び化学系企業が進出している海外の下記拠点において大学・研究機関・企業の技術者を対象とした技術交流会(学術講演会・見学会)を開催し、学術研究や異種産業技術間の連携・交流の場を提供する。会員・非会員に関係なく広範に参加を募り、我が国科学技術の振興と社会経済の発展に貢献することを目的とする。

1. 韓国工業化学会との交流

2021年度は情報交換及び化学啓発行事である韓国化学工業会の年次大会の内容などを本会の会誌及び韓国の連絡拠点を通じて大学及び企業に周知して参加を促した。

2. 日中化学産官学交流

第14回上海化学産官学交流会及び上海サロン<中止>

【優れた研究業績の顕彰事業】 (公益目的事業2)

化学工業振興の見地より若い研究者及び技術者の優れた業績を発掘するとともに、化学技術の発展に向けての更なる貢献を期待し、その業績をたたえ激励することを目的として、化学技術賞・環境技術賞を設けて顕彰を行う。

1. 2020年度第73回化学技術賞授賞者6件・26名並びに第21回環境技術賞授賞者5件・12名を選定・表彰を行った。

2. 2021年度第74回化学技術賞並びに第22回環境技術賞の審査を行った。(3/15)

第74回「化学技術賞」

2021年度内における化学に関連する研究・技術で、工業化したもの、工業化しうるもの、工業化への寄与が著しいもので、特に顕著な業績のあった者を本会の定款及び表彰規定に基づき、第74回「化学技術賞」授賞候補者として、3件・7名を選定した。

第22回「環境技術賞」

2021年度内における化学に関連する研究・技術で、地球環境との共存並びにその維持・改善を積極的に意識し、方向付けがなされた新技術・改良技術で、特に顕著な業績のあった者を本会の定款及び表彰規定に基づき、第22回「環境技術賞」授賞候補者として、5件・16名を選定した。

【人材育成のための研修事業及び能力開発事業】（公益目的事業3）

1. 研修塾

第43期（塾生18名）

会員企業より選抜された30歳代の技術者、研究者を対象に1年を通じて人格並びに人脈形成を図った。明日の産業界を担う次代の人材育成を主旨に、自らに討議主題を課すと共に自らの頭で考える力を涵養し、また、第一線でご活躍の講師を招いて、その人間性や思想に触れる中でお互いに研鑽し、資質を磨き、人脈並びに人格形成を図るために本講座6回、自主講座6回を開催した。懇親会については、感染状況により中止とした。

第1回・4月10日 <オンライン>

①塾頭、副塾頭挨拶

②塾頭講話「きんか その心は」

大阪府立大学大学院工学研究科 教授 松本 章一氏

③自己紹介

④副塾頭講話「数学の美と物質の美 ―結晶に潜む鏡像―」

大阪大学産業科学研究所 招聘教授 宮田 幹二氏

⑤副塾頭講話「人間、環境、エネルギー ～自己紹介を兼ねて～」

京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 藤田 健一氏

第2回・7月3日 <オンライン>

①「技術者倫理を考える」

近畿化学協会 化学技術アドバイザー／日本ウレタン工業協会 技術顧問 和田 康一氏

②事例研究とグループディスカッション

第3回・8月7日 <オンライン>

①「宇宙探査における化学からの貢献」

(国研)宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 准教授 曾根 理嗣氏

②「環境材料～生分解性材料とバイオベース材料～」

群馬大学大学院理工学府分子科学部門（兼）群馬大学食健康科学教育研究センター
准教授 橘 熊野氏

第4回・10月2日 <オンライン>

①「食品業界の商品開発とマーケティング」

日本食品技術(株) 代表取締役 江本 三男氏

②「地磁気逆転と『チバニアン』」

国立極地研究所 准教授 菅沼 悠介氏

第5回・12月4日 <大阪科学技術センター・オンライン>

①「光をあてると何が起こるか」

大阪府立大学名誉教授 水野 一彦氏

②「『研究不正大国』日本をどうするか？」

(一社)科学・政策と社会研究室 代表理事 榎木 英介氏

第6回・2月5日 <オンライン>

① 社会に役立つ放射能－43年間の研究を通して－

大阪青山大学健康科学部 教授（学長補佐）・大阪大学放射線科学基盤機構 特任教授 篠原 厚氏

②「『危険物取扱者』と『プラス思考で』」

千葉大学大学院工学研究院・評議員（兼 副研究院長）教授 赤染 元浩氏

（自主講座）

第1回・5月15日 <オンライン>

①自己・自社PR

②交流会

第2回・6月5日 <オンライン>

①自己・自社PR

②交流会

第3回自主講座・9月21日 <オンライン>

①見学：カルビー(株)北海道工場

②講演：「日立が考える研究開発におけるDX推進」

(株)日立製作所 森田 秀和氏

第4回自主講座・11月6日 <オンライン>

① 講演：「宇宙ビジネスの進展とJAXAの取り組み」

(国研)宇宙航空研究開発機構 新事業促進部事業支援課 主任 島崎 一紀氏

② 見学：飛騨高山オンライン酒蔵ツアー（ハッピープラス(株)主催、平瀬酒造店見学）

第5回自主講座・1月15日 <オンライン>

①見学：象の孤児院 ピンワナラ観光（(株)エイチ・アイ・エス主催）

②講演：「抗体医薬と核酸医薬の最新研究開発動向/バイオと化学のsynergy」

広島大学大学院医系科学研究科・核酸医薬共同研究講座 准教授 荒井 珠貴氏

第6回自主講座・3月19日 <オンライン>

①講演：「貴重な国産資源『ヨウ素』の製造と用途開発」

(株)合同資源・企画部上席アドバイザー/千葉大学理学部・客員教授

ヨウ素学会理事・事業委員長 海宝 龍夫氏

②講演：「化学産業・活性化のために私がやってきたこと ～起業と私の履歴書～」

(株)AndTech 代表取締役 陶山 正夫氏

(株)AndTech 顧問（高分子学会フェロー、元住友化学(株) 理事 研究所長） 今井 昭夫氏

2. 学術セミナー・講習会

本会の目的達成をするために事業企画委員会で化学に関する専門的な学術セミナー・学術講習会・学術講演会・見学会等の開催により、科学技術の普及・振興を図る。

第26講「研究開発リーダー実務講座2021」－企業の将来を担う理想の研究開発リーダー像とは？－
6月2日～11月10日（毎月1回開講・全6回）<オンライン>

第1回（6月2日）「研究開発リーダーのあり方」（42名）

① 趣旨説明

②話題提供「ポストコロナの時代のリーダーシップ－パラダイムシフトを乗り切る3つの鍵－」

ケルセジェン・ファーマ ファウンダー 兼 SAB 小野 光則氏

③グループディスカッション

第2回（7月7日）「新規事業への挑戦とアントレプレナーシップ」（44名）

①話題提供「富士フィルムの挑戦－第二の創業と化粧品事業の立ち上げ－」

富士フィルム(株)R&D統括本部 イノベーションアーキテクト 中村 善貞氏

②話題提供「科学技術イノベーション創出のためのアントレプレナーシップ」

神戸大学大学院経営学研究科 教授 忽那 憲治氏

③グループディスカッション

第3回（8月3日）「人財を活かすマネジメント」（41名）

① 話題提供「研究開発マネジメントとダイバーシティ推進」

北海道大学触媒科学研究所 教授
(国研) 産業技術総合研究所触媒化学融合研究センター

クロスアポイントメントフェロー 西田 まゆみ氏

② 話題提供「素材企業におけるイノベーション追及とシェフ型研究者の育成」

三井化学(株) 常勤監査役 諫山 滋氏

③ グループディスカッション

第4回(9月1日)「産学連携と知財戦略」(41名)

① 話題提供「日本の産学連携を考えるー知財実務家の視点ー」

山本特許法律事務所 弁理士 山本 秀策氏

② 話題提供「産学連携によるイノベーション創出」

神戸大学バリュースクール 教授 坂井 貴行氏

③ グループディスカッション

第5回(10月6日)「イノベーションと変革」(42名)

① 話題提供「イノベーションを先導できる研究リーダーとは？」

(国研) 医療基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所 所長 近藤 裕郷氏

② 話題提供「「イノベーションの制約は何か」～TOC流イノベーションプロセス～」

Goldratt Japan(株) CEO 岸良 裕司氏

③ グループディスカッション

第6回(11月10日)「ビジョンと独創的な製品開発」(40名)

① 話題提供「創薬への情熱ー睡眠薬ロゼレムの誕生秘話ー」

東和薬品(株) 上席執行役員・原薬事業本部長

兼 製品戦略本部 兼 基盤技術本部担当 内川 治氏

② グループディスカッション

第1回ものづくりプロセス基礎講習シリーズ「触媒化学者・技術者のための実践基礎講習」・5月18日<オンライン>(70名)

①「工業触媒の基礎」、②「触媒反応工学の基礎」、③「触媒活性試験と反応速度解析」、④「反応速度解析の実例」、⑤「触媒有効係数」、⑥「触媒劣化」、⑦「触媒プロセス開発実例」、⑧「反応器設計」⑨「実用触媒の製造」

早稲田大学理工学術院総合研究所 客員上級研究員(研究院客員教授)

元(株)日本触媒 常木 英昭氏

近化若手フォーラム【第5回】<中止>

第2回「近化サミット」<中止>

近化電池セミナー「資源と耐久性からみたリチウムイオン電池の課題」・1月12日<オンライン>(61名)

① 「リチウム市場環境と当社の動脈・静脈事業」

豊田通商(株) 金属本部 執行幹部 本部C00 片山 昌治氏

② 「リチウムイオン電池のリサイクル技術」

早稲田大学理工学術院・東京大学大学院工学系研究科 教授 所 千晴氏

③ 「非鉄金属の資源循環とリサイクル～リチウムなどの資源の状況と問題点・ボトルネック～」

東京大学生産技術研究所 所長

同 持続型エネルギー・材料統合研究センター 教授 岡部 徹氏

- ④「充電曲線解析技術(CCA)を用いたリチウムイオン電池の劣化評価」
 (株)東芝 研究開発センター ナノ材料フロンティア研究所
 機能材料ラボラトリー 研究主幹 森田 朋和氏
- ⑤「電力系統連系用途のリチウムイオン電池の劣化と評価」
 (一財)電力中央研究所 エネルギートランスフォーメーション研究本部研究統括室
 上席研究員 三田 裕一氏
- ⑥「リチウムイオン二次電池の劣化機構」
 長岡技術科学大学大学院工学研究科 教授 梅田 実氏

近化新春セミナー2022・1月21日<オンライン> (153名)

- ①「転換期に挑むマテリアル研究開発～わが国の科学技術・イノベーションのゆくえ～」
 (国研)科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センター
 統括ユニットリーダー・研究監 兼 文部科学省 技術参与 永野 智己氏
- ②「ジャパニーズウイスキーの歴史と「つくり」へのこだわり」
 サントリースピリッツ(株)執行役員 チーフブレンダー 福與 伸二氏

第18回キンカ高分子化学研修コース・3月7日<オンライン> (38名)

- ①「高分子の概論と合成 ～基礎と最先端合成技術」
 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 教授 中 建介氏
- ②「高分子の製造技術 ～重合反応装置における攪拌と混合」
 住友重機械プロセス機器(株)技術グループ グループリーダー 竹中 克英氏
- ③「高分子材料の変形と流動 ～レオロジー入門」
 滋賀県立大学工学部材料科学科 教授 徳満 勝久氏
- ④「高分子材料の成形加工品の評価 ～ユーザーから見れば」
 大阪ガス(株)イノベーション推進部オープンイノベーション室 室長 樋口 裕思氏
- ⑤「研究開発と事業化 ～機能性ポリマーの企業化例を通じて」
 (株)日本触媒 チーフテクノロジーマネージャー 上田 賢一氏

3. 学術講演会

本会社員総会終了後の特別講演会として5月28日・オンラインで開催した。(59名)
 「ゲノム情報を活用した生物多様性保全」

京都大学大学院農学研究科 教授 井鷲 裕司氏

4. 男女共同参画推進フォーラム

社員総会終了後の男女共同参画推進フォーラムとして5月28日・オンラインで開催した。(59名)
 「6Kライフのすすめ～研究者、子育て、家事、介護、看護、子ども会～」

内閣府 地域働き方改革推進会議 委員 渥美 由喜氏

5. 見学会 (科学技術週間協賛行事)

科学技術の普及啓発活動の一環として、科学技術に関し、ひろく一般国民の関心と理解を深め、もって我が国の科学技術の振興を図ることを目的に下記の見学会を実施する。

科学技術週間協賛行事 <中止>

【化学に関する知識普及及び情報の提供事業】 (公益目的事業4)

会誌「近畿化学工業界」を月刊誌として、化学工業に関する広巾な知識の普及と情報の提供を行うこと及

び情報の交換の場とすることを目的として発行する。記事内容は共通する事項を網羅して、専門以外の幅広い化学分野の最先端の動きを掲載することにより、化学技術の普及と振興を図る。

1. 会誌「近畿化学工業界」(月刊) 第73巻第4号(通巻第816号)～第74巻第3号(通巻827号)

【技術交流事業】(共益事業1)

特定分野に限らない学術講演会・サロン・見学会・交流会の開催により、科学技術の普及、振興を図る。

1. キンカ東京サロン

東京在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学(科学)に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。

第152回 4月17日<オンライン>(10名)

「アディティブマニュファクチャリングの世界動向～金属を中心に～」

森村商事(株) 中室 正晴氏

第153回 6月19日<オンライン>(8名)

座談会「キンカ東京サロンの今後の活動を考える」

第154回 9月18日<オンライン>(7名)

「高柔軟性酸化チタン光触媒フィルム」

東京理科大学理工学部先端化学科

同 研究推進機構総合研究院先端エネルギー変換研究部門 教授 郡司 天博氏

第155回 11月20日<オンライン>(18名)

「大学と大学発ベンチャー企業をインターラクティブに連携させる試み：マイクロ波化学を例に」

東京工業大学 科学技術創成研究院 特任教授/マイクロ波化学(株) 基盤研究室長 和田 雄二氏

第156回 2月19日<オンライン>(16名)

「数値データで見る男女共同参画」

元内閣府 橋本 ちえみ氏

2. キンカ京都化学者クラブ

京都在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学(科学)に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。

毎月第1土曜日を原則として京都大学楽友会館にて開催

第370回・4月3日・京都大学楽友会館(17名)

「海苔あれこれ」

京都大学名誉教授 中西 正己氏

第371回・5月8日・京都大学楽友会館(11名)

「海洋・雪氷圏特別報告書(SROCC)を読んで」

元 地球環境産業技術研究機構(RITE) CO₂貯留研究グループリーダー 村井 重夫氏

第372回・6月5日・京都大学楽友会館(9名)

「分離分析で化学物質を評価する：皮膚感作性物質を事例として前処理, 検出, 定量」

京都大学学術研究支援室リサーチ・アドミニストレーター 岡本 昌彦氏

第373回・7月3日・京都大学楽友会館(20名)

「微量成分から見た京都盆地と近江盆地の地下水」

京都教育大学理学科 教授 向井 浩氏

第374回・8月7日・京都大学楽友会館(12名)

「大水深淡水湖のユニークな微生物生態系」

京都大学化学研究所附属バイオインフォマティクスセンター 助教 岡崎 友輔氏

第375回・9月4日・京都大学楽友会館（14名）

「NMRで迫るヒト生細胞内の核酸分子の挙動と木質バイオマスの超微細構造」

京都大学エネルギー理工学研究所 教授 片平 正人氏

第376回・10月2日・京都大学楽友会館（15名）

「江戸時代日本人の食糧事情」

甲南大学名誉教授 重松 利彦氏

第377回・11月13日・京都ホテルオークラ（51名）

（公財）海洋化学研究所75周年記念秋季講演会

第378回・12月4日・京都大学楽友会館（16名）

「海水中の微量栄養物質が一次生産へ与える影響」

長崎大学総合生産科学域（水産）大学院水産・環境科学総合研究科准教授 近藤 能子氏

第379回・1月8日・京都大学楽友会館（7名）

新春賀詞交歓会

第380回・2月5日・京都大学楽友会館（13名）

「旧巨椋池氾濫原における水草の自然再生について」

松本仁技術士事務所代表 松本 仁氏

第381回・3月5日・京都大学楽友会館（14名）

「ファクト情報を選別するために 一学者になれなかった内省言一」

滋賀県立大学名誉教授 三田村 緒佐武氏

3. キンカつくばサロン

筑波在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学（科学）に関する学術講演と討論を行い、会員交流・技術情報の交換を図った。

第21回・3月9日<オンライン>（42名）

「Well-beingに向けた革新的食薬資源機能評価系の開発・機能評価」

筑波大学生命環境系／地中海・北アフリカ研究センター 教授

テラーメイドQOLプログラム開発研究センター センター長 磯田 博子氏

4. 新年交歓会

化学並びに化学工業界の発展に尽くされた名誉会員をはじめ、大先輩をお招きして、産官学の会員が一堂に会して、化学技術に関する情報交換と交流を行う。

第74回新年交歓会：1月22日・ホテルグランヴィア大阪<中止>

5. 化学技術アドバイザー会（キンカCA）

アドバイザー登録者（近畿化学協会正会員の有志100名）による自主運営とし、近畿化学協会での位置づけ（組織図）は、研究部門委員会（専門部会・目的研究会）の規定を準用する体制のもとで活動を行う。

会員企業及び一般企業から依頼により技術相談を行う活動と工学倫理研究会、化学教育研究会、安全研究会、MOT研究会では登録会員間の情報交換・懇談会及びこれまでの経験を生かした社会への貢献、啓発活動を行う。

技術相談日：随時対応

アドバイザー情報交換・懇談会（年4回）

工学倫理研究会：原則毎月1回（第4月曜日）

化学教育研究会：原則毎月1回（第2水曜日）

安全研究会：原則毎月1回（第1月曜日）

MOT研究会：原則毎月1回（第3水曜日）

【技術相談】申込 2件

【年次大会】6月10日<オンライン>

【情報交換・懇談会】6月10日<オンライン懇談会>（25名）、9月8日<オンライン懇談会>（14名）、11月22日<オンライン忘年会>（22名）、2月16日<オンライン懇談会>（16名）

「」内は対面での参加者数。

【工学倫理研究会】<オンライン、対面>

工学倫理の教授法について意見交換を重ねるとともに、大学・学校などへ講師の推薦を行った。

第195回（4/26・25「4」名）、第196回（5/24・25「4」名）、第197回（6/28・25「4」名）、第198回（7/26・24「5」名）、第199回（9/27「4」名）、第200回（10/25・27「4」名）、第201回（11/22・24「5」名）、第202回（12/20・25「6」名）、第203回（1/24・21「4」名）、第204回（2/28・25「3」名）、第205回（3/28・22「3」名）

【化学教育研究会】<オンライン>

学生（小学生から大学院まで）を対象として地球環境・産業に関わる化学教育支援及び専門化学教育支援を行った。

第196回（4/14・17名）、第197回（5/12・15名）、第198回（6/9・16名）、第199回（7/14・12名）、第200回（9/8・16名）、第201回（10/13・21名）、第202回（11/10・15名）、第203回（12/8・15名）、第204回（1/12・10名）、第205回（2/9・15名）、第206回（3/9・18名）

【安全研究会】<オンライン>

公的機関及び企業・大学向けの教育資料作成と安全指導を行った。

第180回（4/5・16名）、第181回（5/10・14名）、第182回（6/7・16名）、第183回（7/5・14「1」名）、第184回（9/6・13名）、第185回（10/4・14「2」名）、第186回（11/1・14「1」名）第187回（12/6・12名）、第188回（1/11・15「1」名）、第189回（2/7・15名）、第190回（3/7・14名）

【MOT研究会】<オンライン>

化学産業において実際に役立つ研究開発テーマの発掘と育成をめざした実践的技術経営の検証を行った。

第75回（5/19・14名）、第76回（6/16・13名）、第77回（7/21・14名）、第78回（9/15・15名）、第79回（10/20・19名）、第80回（11/17・17名）、第81回（12/15・16名）、第82回（1/19・21名）、第83回（2/16・15名）、第84回（3/16・12名）

【専門部会事業】（共益事業2）

化学の専門分野に応じた9の各専門部会を設置し、各専門部会が部会の目的に沿って部会員の活動の場となり、部会員が協力して科学技術の振興を図る。部会員相互の学術的及び技術的知識の増進を図ることを目的として、例会（学術講演会）、基礎講習会、学術講習会、学術セミナー、討論会、シンポジウム、フォーラム、公開講演会、懇話会等を行う。

第1部会（有機金属部会）

有機金属化学における基礎研究並びにスペシャリティケミカルズの開発に関する研究会として例会（学術講演会）・学術セミナー・討論会等の実施及び知識普及事業として部会機関誌 Organometallic News を刊行した。

第1回例会・4月20日<オンライン>（92名）

①「直接的芳香族カップリングの新展開」

大阪大学先導的学際研究機構 特任教授 三浦 雅博氏

②「有機ヨウ素化学に魅了されて35年」

佐賀大学 名誉教授 北村 二雄氏

③「不安定化学種の安定化：感応性化学種の化学」

広島大学先進理工系科学研究科 名誉教授 山本 陽介氏

第47回有機金属化学セミナー・6月8日<オンライン・オンデマンド配信> (228名)

①「遷移金属錯体触媒反応を理解するための基礎知識」

大阪府立大学大学院理学系研究科 教授 大橋 理人氏

②「有機典型金属反応剤の活用と触媒的不斉合成反応への展開：P-キラルホスフィン配位子の合成と不斉水素化への応用を中心に」

千葉大学名誉教授/北海道大学 客員教授 今本 恒雄氏

③「クロスカップリング反応」

京都大学大学院工学研究科 准教授 藤原 哲晶氏

④「C-H官能基化」

大阪市立大学大学院理学研究科 教授 西村 貴洋氏

⑤「オレフィンメタセシス反応」

大阪府立大学大学院理学系研究科 教授 神川 憲氏

⑥「遷移金属触媒反応を活用する機能性有機材料の合成」

関西学院大学大学院理学研究科 教授 畠山 琢次氏

第2回例会・6月12日<大阪科学技術センター・オンライン> (97名)

①「名古屋大学時代の半世紀を振り返って」

名古屋大学大学院創薬科学研究科 教授 北村 雅人氏

②「有機金属ができること」

東京工業大学科学技術創成研究院化学生命科学研究所 特任教授 小坂田 耕太郎氏

③「炭素原子が有機分子中で連続して移動する現象の発見およびその原理の提案と検証—メリーゴーランド反応への展開」

北海道大学名誉教授 高橋 保氏

④「 $1 + 1 > 2$ 」

九州大学名誉教授、九州大学グリーンテクノロジー研究教育センター 特任教授
永島 英夫氏

第67回有機金属化学討論会・9月7、9、10日<オンライン> (388名)

口頭発表 40件、ポスター発表 147件 合計 187件

有機金属部会創立70周年記念講演会・9月7日<オンライン> (318名)

①「日本の有機金属化学力 (Power of Organometallic Chemistry in Japan)」

名古屋大学名誉教授 巽 和行氏

②「『一家に1枚周期表』に見るわが国の科学技術の底力」

(公財)豊田理化学研究所 所長 玉尾 皓平氏

③「有機合成を指向する有機金属化学の進展」

大阪大学名誉教授 村橋 俊一氏

第3回例会・11月17日<オンライン> (56名)

①「単離可能な高活性低配位ケイ素化学種の合成」

東北大学大学院理学研究科 教授 岩本 武明氏

②「遷移金属触媒とアルキルメタロイドの協奏効果を利用した不飽和炭素結合に対する二酸化炭素挿入」

長崎大学大学院工学研究科 教授 木村 正成氏

③「希少金属を含まない室温りん光材料に関する最近の研究動向」

京都工芸繊維大学分子化学系 教授 清水 正毅氏

第4回例会・2月4日<オンライン> (74名)

①「ホモエノラート化学の新展開」

東北大学大学院薬学研究科 教授 吉戒 直彦氏

②「スズを基調とする有機合成反応の新展開」

広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授 吉田 拓人氏

③「金属-硫黄クラスターによる小分子変換反応」

京都大学化学研究所附属元素科学国際研究センター 教授 大木 靖弘氏

部会機関誌 Organometallic News 2021 No. 2, 3, 2022 No. 1 (Web版), 2021 冊子体刊行

第2部会 (合成部会)

有機合成化学の基礎研究並びに医薬、農薬、エネルギー開発生体模倣材料の合成化学的開発に関する研究会として合成フォーラム等を実施した。部会内に設置されたフロー・マイクロ合成研究会では、自動合成やマイクロリアクターを使った合成に関する研究会として研究会 (学術講演会)、公開講演会&展示会等を実施した。

第1回合成フォーラム・5月31日<オンライン> (40名)

①「非ベンゼン系共役電子系の化学のルネサンス」

京都大学高等研究院物質-細胞統合システム拠点 教授 深澤 愛子氏

②「光増感を利用した有機合成反応の開発」

神戸大学大学院理学研究科 准教授 松原 亮介氏

③「新規探索法による生物活性天然物の開拓：魚釣り法と微生物-動物細胞共培養法」

慶應義塾大学理工学部 教授 荒井 緑氏

第2回合成フォーラム・1月14日<オンライン> (30名)

①「炭素循環社会の実現に向けたCO₂電解技術の開発」

(株) 東芝 研究開発センター ナノ材料・フロンティア研究所

トランスデューサ技術ラボラトリー 上席研究員 北川 良太氏

②「化学資源変革を目指した有機合成：鐵と森林で明るい未来を！」

京都大学化学研究所元素科学国際研究センター 教授 中村 正治氏

③「植物由来ビニルモノマーの精密重合に基づくバイオベースポリマーの創出」

名古屋大学大学院工学研究科 教授 上垣外 正己氏

[フロー・マイクロ合成研究会]

第90回研究会・6月18日<オンライン> (124名)

① -1 「医薬品原薬製造へのフロー技術適用における課題」

武田薬品工業 (株) グローバルマニュファクチャリング&サプライズジャパン 光工場 API技術部主席部員 浜住 益至氏

① -2 「医薬品原薬の連続製造実現に向けたプロセスモニタリングに関する取組み」

武田薬品工業 (株) グローバルマニュファクチャリング&サプライズジャパン 光工場 API技術部 松枝 拓見氏

②「マイクロ化学に基づく動的界面制御による革新的微細乳化技術と実用化」

花王 (株) 加工・プロセス開発研究所 高木 道哉氏

③「液相電解自動合成法によるオリゴ糖の化学合成」

鳥取大学大学院学術研究院工学系部門 教授 野上 敏材氏

第35回公開講演会-講演&展示-・8月6日<オンライン> (106名)

①「マイクロフローペプチド合成の最新の成果と反応開発における機械学習の利用法の提案」

名古屋大学大学院創薬科学研究科 教授 布施 新一郎氏

②「機械学習を活用するフロー合成の可変パラメーター最適化」

大阪大学産業科学研究所 教授 笹井 宏明氏

③「出展企業プレゼンテーション」

④「2030年連続生産システム社会実装へのロードマップ・第2フェーズ実証」
(株)高砂ケミカル 会長 齊藤 隆夫氏

⑤「Chemical Reaction with Flow Technology」
台湾国立陽明交通大学 准教授 Yen-Ku Wu氏

⑥「有機光反応におけるフローマイクロリアクター技術の進歩」
奈良先端科学技術大学院大学名誉教授 垣内 喜代三氏

=オンライン展示会=

(株)朝日ラボ交易、(株)神戸製鋼所、(株)タクミナ、(株)DFC、(株)ナード研究所、(株)日本サイエンスコア、日本スウェージロックFST(株)、マックエンジニアリング(株)

第92回研究会・11月1日<オンライン>(71名)

①「動的キラル分子化学の新展開：マイクロフロー分析法による立体化学挙動解析と動的不斉誘起法の開発と応用」
九州大学先導物質化学研究所 助教 井川 和宣氏

②「固形製剤の連続生産について」
(株)パウレック 取締役技術本部副本部長 長谷川 浩司氏

③「ヌクレオチドBlockmerを用いる核酸APIの液相合成技術」
(株)ナティアス 代表取締役 片岡 正典氏

第93回研究会・1月28日<オンライン>(113名)

①「フローマイクロリアクタ適用におけるスケールアップ時の課題と対策」
味の素(株) バイオフィン研究所 主任研究員 中原 祐一氏

②「医薬品原薬製造を志向したフロー合成技術開発」
塩野義製薬(株) CMC研究本部 製薬研究所 研究員 細谷 昌弘氏

③「統合型医薬品製造システムを目指した連続球形晶析法の開発」
岐阜薬科大学 製剤学研究室 教授 田原 耕平氏

第3部会(触媒・表面部会)

触媒化学の基礎研究並びにファインケミカルズ開発の触媒設計等に関する研究会としてキャタリストクラブ例会(学術講演会)、学術セミナー、学術講習会、国際シンポジウム等を実施した。

第1回キャタリストクラブ例会・6月1日<オンライン>(36名)

①「高温還元雰囲気における触媒表面の動的効果を利用した高活性窒素還元サイトの構築」
京都大学触媒・電池元素戦略ユニット 特定講師
名古屋大学大学院 化学システム工学専攻 招聘教員 佐藤 勝俊氏

②「粉末光触媒による人工光合成反応の開拓」
大阪大学太陽エネルギー化学研究センター 准教授 白石 康浩氏

入門触媒科学セミナー・10月18日~19日<オンライン>(41名)

①開会挨拶 大阪大学大学院工学研究科 准教授 森 浩亮氏

②「触媒科学の基本概念ーこれだけは知っておこう」
関西大学環境都市工学部 教授 三宅 孝典氏

③「固体表面の酸・塩基点とその触媒機能」
徳島大学大学院創成科学研究科 准教授 山本 孝氏

④「金属酸化物触媒ー多様な触媒機能の宝庫ー」
京都大学大学院工学研究科 准教授 寺村 謙太郎氏

⑤「遷移金属錯体触媒ー錯体の基礎と有機合成触媒反応ー」
奈良女子大学大学院自然科学系 准教授 浦 康之氏

⑥「金属ナノ粒子触媒ー構造と触媒作用及び設計法ー」
大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 満留 敬人氏

- ⑦「触媒調製化学－基礎から最近のナノ構造触媒まで－」
大阪大学大学院工学研究科 准教授 森 浩亮氏
- ⑧閉会挨拶
大阪大学大学院工学研究科 准教授 森 浩亮氏
- 国際シンポジウム (Osaka-Kansai International Symposium on Catalysis (OKCAT 2021))
<2022年に開催延期 (大阪公立大学にて開催予定)>
- ナノ材料の表面分析講習・11月4～5日<オンライン> (46名)
- ①開会挨拶 京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 吉田 寿雄氏
- ②「表面分析概論」
関西大学環境都市工学部 教授 池永 直樹氏
- ③「組成分析 (AAS, ICP-AES, XRF)」
大阪府立大学大学院工学研究科 准教授 亀川 孝氏
- ④「光電子分光法 (XPS, UPS)」
大阪府立大学大学院工学研究科 准教授 堀内 悠氏
- ⑤「X線回折 (XRD)」
大阪市立大学複合先端研究機構 特任准教授 東 正信氏
- ⑥「X線吸収微細構造 (XAFS)」
京都大学学際融合教育研究推進センター 特定講師 朝倉 博行氏
- ⑦「電子スピン共鳴 (ESR)」
大阪府立大学大学院工学研究科 教授 松岡 雅也氏
- ⑧「核磁気共鳴 (NMR)」
大阪大学大学院基礎工学研究科 教授 水垣 共雄氏
- ⑨「顕微鏡 (TEM・SEM・STM・AFM)」
近畿大学理工学部 講師 田中 淳皓氏
- ⑩「紫外可視・光ルミネセンス (UV-vis, PL)」
京都大学大学院人間・環境学研究科 助教 山本 旭氏
- ⑪「赤外・ラマンスペクトル (FT-IR, Raman)」
関西大学環境都市工学部 准教授 福 康二郎氏
- ⑫「質量分析 (MS)」
神戸大学大学院工学研究科 助教 谷屋 啓太氏
- ⑬「昇温スペクトル (TPD, TPR)」
大阪大学大学院工学研究科 准教授 桑原 泰隆氏
- ⑭「総論・ケーススタディー」
大阪市立大学複合先端研究機構 教授 吉田 朋子氏
- ⑮閉会挨拶 京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 吉田 寿雄氏
- 第2回キャタリストクラブ例会・1月17日<オンライン> (36名)
- ①「固体物質の「同定」を考える」
北海道大学触媒科学研究所 教授 大谷 文章氏
- ②「エネルギーキャリアとしてのアンモニア利用のための触媒材料」
京都大学大学院工学研究科 教授 江口 浩一氏

第4部会 (ヘテロ原子部会)

脱硫、脱硝に伴う副生物の有効利用、ヘテロ原子化学の基礎研究並びに応用開発に関する研究会として懇話会 (学術講演・見学会) 等を実施した。

第1回懇話会・8月5日<オンライン> (40名)

①「3価ヨウ素反応剤を用いる新奇分子変換反応の発見」

東北大学大学院薬学研究科 教授 吉戒 直彦氏

②「ひずみ分子の合成化学、ときどきヘテロ原子」

京都大学大学院薬学研究科 教授 高須 清誠氏

③企業紹介（東京化成工業(株)）

「試薬を通じた基礎科学・応用技術の進歩への更なる貢献を目指してー有機エレクトロニクスにおける最近のアプローチを中心にー」

東京化成工業(株) マテリアルサイエンス研究所 所長 田邊 太郎氏

第2回懇話会・11月15日<オンライン>（31名）

①「触媒的に発生させたヘテロバイメタリック中間体を利用する合成反応の開発」

公立千歳科学技術大学理工学部 教授 堀野 良和氏

②「フッ化アシルを活用した分子変換反応の開発 ～最近の合成例から～」

東京理科大学理工学部 教授 坂井 教郎氏

③「光ペルフルオロアルキル化反応の開発」

お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系 教授 矢島 知子氏

第3回懇話会・2月24日<オンライン>（37名）

①「ピアリアル型アミノ酸の創製からカルコゲン元素による触媒構造の制御へ」

京都薬科大学創薬科学系 教授 古田 巧氏

②「未踏のヘテロ原子化合物を求めて」

京都大学 理事・副学長 化学研究所 教授 時任 宣博氏

第5部会（バイオ部会）

バイオテクノロジーの基礎研究並びに工業生産技術開発に関する研究会として、従来、企業や研究機関の見学と講演という内容で例会（学術講演会）等を実施した。

第1回例会・4月13日<オンライン>（25名）

①「健康維持増進に寄与する機能性食品素材について」

神戸大学大学院農学研究科 准教授 山下 陽子氏

②「アルコール生産への挑戦」

関西化学機械製作(株) 代表取締役社長・Bio-energy(株) 代表取締役社長 野田 秀夫氏

Bio-energy(株)R&D 研究所 主席研究員 兼 部長 濱 真司氏

第2回例会・3月14日<オンライン>（32名）

①「COVID-19の早期終息に向けたシオノギの取り組み」

塩野義製薬(株) 医薬研究本部先端医薬研究所 ディレクター 三神山 秀勲氏

第6部会（機能性色素部会）

機能性色素材料の基礎研究並びにデザイン、合成、物性等に関する研究会として例会（学術講演会）、公開講演会を実施した。

第103回例会「SDGsに資する機能性色素」・4月27日<オンライン>（46名）

①「近赤外色素を用いるがんの可視化」

京都大学大学院工学研究科 准教授 三木 康嗣氏

②「ベンゾトリアゾール系青色蛍光色素の開発と農業用波長変換フィルムへの応用」

シプロ化成(株) 開発部 部長 上坂 敏之氏

③「KAITEKI 社会に貢献する光電変換型色素素材」

三菱ケミカル(株) Science & Innovation Center, Organic Materials Lab.

主席研究員・グループマネジャー 武井 出氏

見学・研修セミナー [エレクトロニクス部会と共催] <中止>

第10回機能性色素および先端材料に関する東アジアシンポジウム (EAS-10) ・9月9日
<オンライン>（61名、うち日本側26名）

[エレクトロニクス部会・台湾染料顔料工業同業公会と共催]

Invited Lecture

- ① Molecular design of dyes for dye-sensitized solar cell.
Chun-Guey Wu (National Central Univ.)
- ② Development of Red-to-Near Infrared Fluorescent Dyes Based on a 14 Element-Bridged Bithiophene Dimer Scaffold.
Shigeyuki Yagi (Osaka Prefecture U)
- ③ Synthesis and Characterization of Photochromic Mesomorphic Diarylethene Derivatives.
Hsiu-Hui Chen (National Taipei U of Technology)
- ④ Organic semiconductor memory device prepared by selective metal-vapor deposition/absorption of photochromic diarylethene films.
Tsuyoshi Tsujioka (Osaka Kyoiku U)
- ⑤ High O.D. Carbon Black Concentrate for Inkjet Inks.
Da-Ru Luo (Everlight Chemical)
- ⑥ Actuation and blocking force properties of CNT/polymer composites.
Hirosato Monobe (AIST)
- ⑦ Pentiptycene-Containing Smart Luminescent Molecular Solids.
Jye-Shane Yang (National Taiwan U)
- ⑧ Design and Synthesis of CPL-Emissive Helicenes by Controlling Transition Electric and Magnetic Dipole Moments.
Kenji Matsuda (Kyoto U)
- ⑨ Molecular orientation control for high vertical mobilities in organic semiconductor films.
Ken'ichi Nakayama (Osaka U)
- ⑩ Low-Power Energy Upconversion Through Triplet-Triplet Annihilation.
Shih-Sheng Sun (Academia Sinica)
- ⑪ Photoresponsive Crystals of Molecular Photoswitches.
Kingo Uchida (Ryukoku U)
- ⑫ Design Strategies for AIE Sensors: Amphiphilicity and Fluorescence Umpolung.
Weihong Zhu (East China U of Science and Technology)

合同公開講演会「センサネットワークによるスマートソサエティの実現に向けて」

10月26日<オンライン>(46名)[エレクトロニクス部会と共催]

- ① 「フォトクロミック材料が使えるか?紫外線センサー・温度センサー・フォトアクチュエーター」
大阪市立大学大学院工学研究科 教授 小島 誠也氏
- ② 「非焦電性有機圧電フィルムを用いた同軸線型張力センサの機能および産業応用について」
三井化学(株)新事業開発センターICT材料事業推進室
センサー&ソリューションPJサブプロジェクトリーダー兼 機能材料研究所
主任研究員 吉田 光伸氏
- ③ 「スマートモニタリングのための3Dイメージセンサネットワーク基盤」
芝浦工業大学情報工学科 教授 新熊 亮一氏
- ④ 「施設とクルマ・ロボットをつなぐ技術」
清水建設(株)技術研究所未来創造技術センター 主席研究員 白石 理人氏
- ⑤ 「人間拡張技術による新サービスで拓くスマートソサエティ」
(国研)産業技術総合研究所人間拡張研究センター 研究センター長 持丸 正明氏

第104回例会「動的エキシトンのサイエンスとイノベーション」・11月9日<オンライン>
(29名)

- ① 「光前駆体法による芳香族有機材料の開発」
奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学領域 教授 山田 容子氏
- ② 「マイクロ波過渡分光法による動的エキシトンのナノ空間評価」
大阪大学大学院工学研究科 教授 佐伯 昭紀氏
- ③ 「光増感分子触媒を活用したC-H化学反応変換法の開発」
東京大学大学院薬学系研究科 特任教授 三ツ沼 治信氏
- ④ 「エキシトンの動的効果による有機EL特性向上」
京都大学化学研究所 教授 梶 弘典氏

第105回例会「バイオイメージングと機能性色素」・1月25日<オンライン> (30名)

- ① 「生きたマウス脳内で機能するニューロ分子技術の開発と蛍光バイオイメージング」
京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻 准教授 野中 洋氏
- ② 「機能性色素が拓く光バイオマニピュレーション」
(国研)産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門分子機能応用研究グループ
研究グループ長 須丸 公雄氏
- ③ 「元素の特性を活かした蛍光プローブの開発」
名古屋大学トランスフォーメティブ生命分子研究所 教授 山口 茂弘氏

第7部会 (エレクトロニクス部会)

電子材料の新素材研究と学際領域の技術開発に関する研究会として例会(学術講演会)、研修セミナー、公開講演会等及び、部会機関誌 Electronics Communicationsを刊行した。

見学研修セミナー [機能性色素部会と共催] [前出] <中止>

合同公開講演会 「マテリアルインフォマティクスの最新の動向」・11月12日<オンライン>
[機能性色素部会と共催] [前出]

第1回研究会「5G時代の高周波に対応する材料、技術」・5月21日<オンライン> (40名)

- ① 「5G時代の高周波に対する高分子材料の技術動向」
横浜国立大学 元教授・横浜市立大学客員教授 高橋 昭雄氏
- ② 「Beyond 5G時代に向けた電気光学ポリマーテラヘルツデバイス技術の研究開発」
(国研)情報通信研究機構 未来ICT研究所 主任研究員 梶 隆博氏
- ③ 「圧電デバイス用としてのウルツ鉱型窒素化合物薄膜の開発」
(国研)産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター 主任研究員 上原 雅人氏

第10回機能性色素および先端材料に関する東アジアシンポジウム (EAS-10) ・9月9日
<オンライン> [機能性色素部会・台湾染料顔料工業同業公会と共催] [前出]

合同公開講演会「センサネットワークによるスマートソサエティの実現に向けて」・10月26日<オンライン> [機能性色素部会と共催] [前出]

第2回研究会「新しい動作原理に基づく分析技術の新機軸」・2月3日<オンライン> (19名)

- ① 「最先端レーザーラマン顕微鏡を用いた材料イメージング分析の世界」
ナノフォトン(株) 足立 真理子氏
- ② 「電子回折計Synergy-EDによるナノ結晶構造解析」
(株)リガク 応用技術センター ROD (単結晶解析) グループ
アプリケーションサイエンティスト 伊藤 翔氏
- ③ 「固体DNP-NMRを活用する有機材料の精密構造解析」
(国研)産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター 主任研究員 田中 真司氏

部会機関誌 Electronics Communications No. 37 電子版刊行

第8部会 (コンピュータ化学部会)

物質のデザイン、生産工程のコントロール、人工知能開発研究に関する研究会として例会(学術講演会)、公開講演会、公開セミナー等を実施した。

公開講演会(第110回例会)「マテリアルズインフォマティクスとその周辺」・6月1日
<オンライン>(43名)

[機能性色素部会・エレクトロニクス部会と共催]

①「インフォマティクス活用で叶える多次元スペクトルイメージング」

(国研)物質・材料研究機構 先端材料解析研究拠点 主任研究員
(兼)JST さきがけ 研究員、東京理科大学先進工学部 客員准教授 永村 直佳氏

②「物性を直裁に記述する電子論的特徴量を用いた MI によるものづくりの加速」

分子科学研究所 理論・計算分子科学研究領域 客員教授
中央大学理工学部 教授 森 寛敏氏

③「微細構造計測データ解析のための統計的機械学習」

岐阜大学工学部電気電子情報工学科 准教授 志賀 元紀氏

公開講演会(第111回例会)「計算化学を活用した新しい化学反応の創成」・9月13日
<オンライン>(28名)

①「量子化学計算を用いた反応経路解析：光機能性分子への応用」

北海道大学大学院理学研究院化学部門 助教 原 祐氏

②「理論と実験でデザインする新反応、新分子、新機能、新材料」

東京大学大学院薬学系研究科 教授
信州大学先鋭材料研究所 教授(クロスアポイント) 内山 真伸氏

③「GRRM戦略を活用した立体制御機構の解明」

立教大学理学部化学科 教授 山中 正浩氏

公開講演会(第112回例会)「電池材料と計算化学」・2月15日<オンライン>(21名)

①「全固体電池にむけた固体電解質材料の進展」

大阪府立大学大学院工学研究科 教授 林 晃敏氏

②「理論計算と実験のインタープレイによる二次電池電極/電解液界面の分子設計に向けて」

東京大学大学院工学系研究科 助教 竹中 規雄氏

③「理論計算による全固体電池の電子・イオン移動の可視化」

物質・材料研究機構(NIMS)エネルギー・環境材料研究拠点 副拠点長 館山 佳尚氏

第9部会 (重合工学部会)

重合体製造プロセスに関する研究会として例会(学術講演会)、重合プロセスの基礎講習会等を実施した。

第1回例会・6月14日・<オンライン>(33名)

①「PVCゲルアクチュエータの開発とそのウェアブルロボットへの応用」

信州大学繊維学部特任教授
Assist Motion(株)代表取締役 橋本 稔氏

②「バイオマス複合PVCについて・バイオマス複合プラスチックについて」

(株)コバヤシ開発本部技術研究所 所長 井上 雅博氏

重合プロセスの基礎講習会・10月11日~12日<オンライン>(35名)

①「ポリマー製造プロセスの構成と単位操作」

浅野生産革新・攪拌研究所 主宰 浅野 健治氏

②「高分子合成の基礎」

神戸大学大学院工学研究科 教授 南 秀人氏

- ③「重合機構と反応速度」
大阪府立大学大学院工学研究科 教授 安田 昌弘氏
- ④「重合プロセスの操作設計」
神戸大学大学院工学研究科 教授 大村 直人氏
- ⑤「微粒子生成の重合反応」
福井大学大学院工学研究科 准教授 鈴木 清氏
- ⑥「重合反応装置の基本設計と事例紹介」
住友重機械プロセス機器(株)技術部攪拌技術グループ グループリーダー 竹中 克英氏
- ⑦「PVCものづくりの現状と将来—プロセスから製品化—」
元(株)カネカ 一色 実氏

重合工学レクチャーシリーズ No.8

プラスチックと環境：バイオベースポリマーと廃プラスチックリサイクル・1月14日

<オンライン> (28名)

- ①「バイオプラスチックの概要」
日本バイオプラスチック協会 事務局長 横尾 真介氏
- ②「CO₂削減を実現するプラスチックの高度物性化プロセス」
福岡大学工学部教授/機能・構造マテリアル研究所長/産官学連携センター長 八尾 滋氏
- ③「高性能・高機能な新規バイオマスポリマーの創製」
(国研) 理化学研究所 環境資源科学研究センターバイオプラスチック研究チーム
チームリーダー 阿部 英喜氏
- ④「バイオビニルモノマーの微生物生産と新規ポリマー合成への展開」
京都工芸繊維大学繊維学系 教授 麻生 祐司氏
- ⑤「プラスチックと環境：バイオベースポリマーと廃プラスチックリサイクル」
(株)カネカ Pharma & Supplemental Nutrition Solutions Vehicle
バイオテクノロジー研究所 幹部職 佐藤 俊輔氏

【学協会との連携及び合同事務局の運営事業】 (共益事業4)

1. 学協会との連携及び合同事務局運営事業

一般社団法人近畿化学協会・公益社団法人日本化学会近畿支部・公益社団法人化学工学会関西支部・公益社団法人日本分析化学会近畿支部・公益社団法人有機合成化学協会関西支部の5法人で「合同事務局運営委員会」を組織して合同事務局の運営を行った。

2. 関連学協会協賛行事

化学分野の学術団体が主催する学術セミナー・学術講演会などの行事に協賛し、内容を会誌などで会員に周知した。会員が行事に参加する場合は各主催者で定めた割引費用で参加できる。

2021年度事業報告の付属明細書

2021年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上